

# 「くり勉」のすすめ 12月号

下羽栗小学校

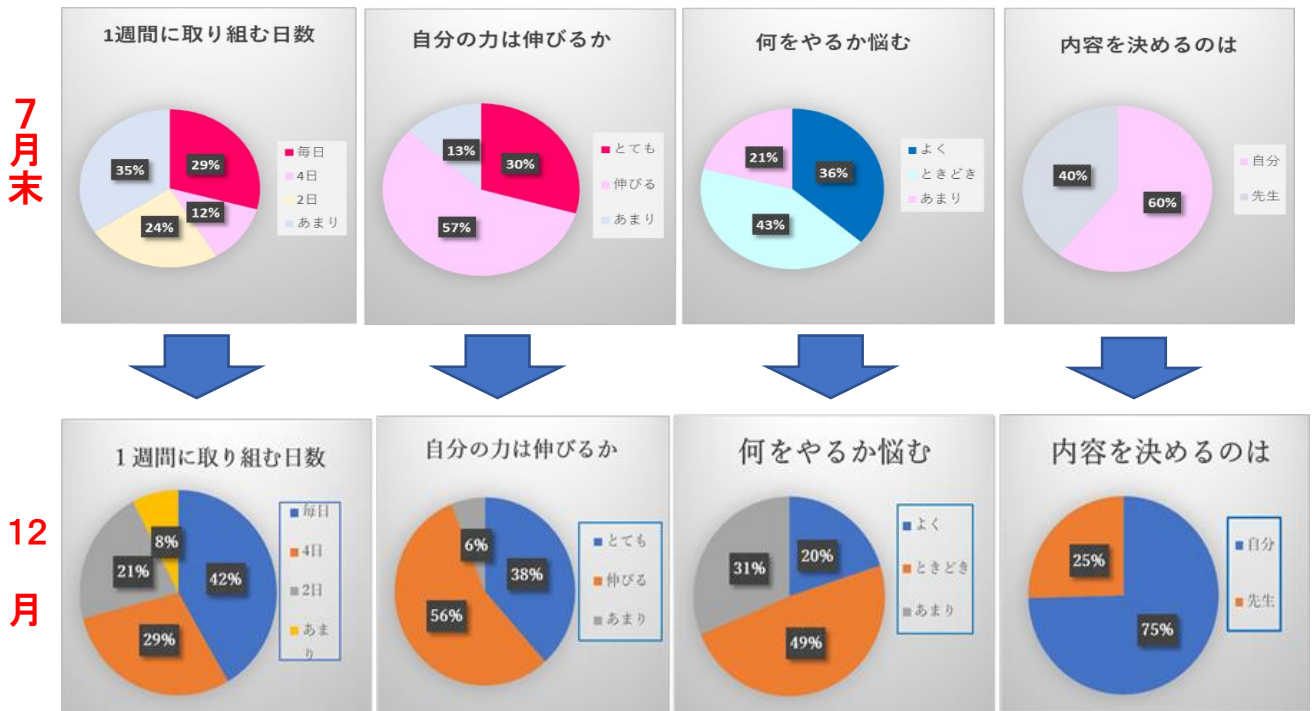


日ごろより、本校の学校教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。先週は、ご多用の中、三者懇談にご参加いただきありがとうございます。お子さんの頑張り発表はいかがでしたでしょうか。今回はこの発表の中で「くり勉」を紹介した児童がたくさんいたことを担任から聞いております。



日ごろ、ご家庭でご支援いただいていることが、こうやって子どもたちの「できたよ」「がんばったよ」につながっていることを大変うれしく思い、重ねてご協力に感謝申し上げます。

さて、「くり勉」のすすめ10月号には、7月末にとった「くり勉」についての子どもの意識アンケートを載せさせていただきましたが、12月にもう一度同じアンケートをとって見たところ、次のような大きな変化がみられました。



最も大きな変化は『1週間に「くり勉」取り組む日数』です。前は、4日以上取り組める児童が40%程度でしたが、今回のアンケートでは、なんと**71%**に伸びました。さらに、『自分で宿題の内容を決めたい』と、感じている児童は、60%から**77%**に増えました。他にも、『くり勉によって自分の力が伸びる』と感じている児童が増え、『くり勉で何をやるか悩む』という児童は減っています。(12月のデータには、1・2年生も含まれています。)子どもたちの、くり勉に対する意識の変化や成長には驚かされます。

この期間、時には家に帰り「何をやっていいかわからない。」や「㊦や㊧はどうやって書くの?」とお家の方に相談した児童もいたのではないかと思います。中には、がんばった「くり勉」をお家の方に自慢げに見せた児童もいたことでしょう。そんな折に、保護者の皆様が「くり勉」の意図をくみ取り、丁寧にアドバイスをくださったり、子どもたちを大いに誉め、認めてくださったりしたことで、子どもたちの「くり勉」への取組意欲が高まり、このような結果に結びついたのでないかと思っております。本当に、ありがとうございました。今後は、『いかにこれを継続していくことができるか』が課題であると考えております。そのためにも、子どもたちが、今まで以上に自分で勉強することを決め、学ぶのが楽しいと感じ、将来の生きる力に結び付けられるような、提案やアドバイスを続けていきます。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

